※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	(学)実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ボールペン、筆ペンを用いて、書写能力を高めましょう。
・社会人として知っておかなければならない書式を身につけましょう。
・日常生活の中にある様々な書式を学習し、それぞれに適した美しい書き方を身につけましょう。
・提出物、課題に取り組む姿勢が評価の大半を占めます。毎回の授業に積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

(1)　実用書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、創造的に表現するための技能を身に付けようとしている。
(2)　実用書のよさや必要性を感じ、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫したり、実用書の価値を考え、その美しさを捉えたりすることができるようにする。
(3)　主体的に実用書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、実用的な場面で生かすことのできる態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個性豊かに創造的な表現をするために、素材を生かした効果的な表現の技法を身に付けている。	日常のさまざまな場面に適した様式を理解し、それに合わせた表現や書法を理解している。	書を愛好し、書の文化や伝統を尊重するとともに、実用書に対して意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。 書の美の多様性と作品の特徴を把握し、日本及び中国等の書の伝統と諸文化との関連などを理解し、そのよさや美しさを個性豊かに味わう

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	オリエンテーション　硬筆の基礎学習	・授業の受け方についての確認。 ・硬筆の基本的な書き方・用具・姿勢・ペンの持ち方など理解する。 ・ひらがな、カタカナ、漢字の楷書体・行書体の学習	a：バランスのよい文字を理解し、硬筆の書の美しさを感じ取ることができる。 b：文字造形の原理を理解し、正しい姿勢や持ち方で美しく文字を書こうと自主的に工夫している 。 文字を書くときの原理を押さえ、形式に合った表現をすることができている。 c：硬筆の技法、表現方法に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提 出 作 品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	履歴書　宛名書き	・履歴書の書き方 近畿高等学校統一用紙を使用し、履歴書の書き方、適切な文字の大きさについて学び、用紙に聖書する。 ・宛名の書き方 宛名書きの決まり、書式を理解し、繰り返し練習する。 ・暑中見舞いの書き方 暑中見舞いの書式を理解し、繰り返し練習する。 実際のはがきに担任に当てた自作の暑中見舞いを制作する。	a：宛名や履歴書などの実用的な書式に関心を持ち、自主的に様式を確認している。 b：それぞれの形式に合わせた表現方法を理解し、罫線やマス目の違いによって、意図に基づいて表現を工夫している。 c：宛名や履歴書などの実用的な書式に関心を持ち、自主的に様式を確認している。 宛名などの様式を理解し、美しく見えるバランスを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
2	筆ペン　熨斗袋　宛名	・筆ペン 筆ペンの使用方法、基本的点画 ・熨斗袋 実際の熨斗紙、熨斗袋を使用し、熨斗の形式を学習。 ・宛名書き、年賀状 筆文字で宛名を練習し、年賀状の書式を学び、自作の年賀状を作成する。	a：基本的点画を習得し、正確に筆ペンを用いて書写することができている。 b：熨斗や筆ペンを用いたさまざまな実用書式を理解し、より美しく見えるよう工夫している。 c：筆ペンを用いた書写能力の向上に努め、技法を高めようとしている。 ボールペンと筆ペンの書写的効果の違いを理解し、そのよさや美しさを味わっている。日常生活にも生かすことができるよう、熨斗や宛名の決まりを理解し、そのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	カレンダー制作	・カレンダー制作 好きな詩文を選び、バランスよく用紙に清書する 色彩等を工夫し、カレンダー作品を制作する。	a：文字造形の原理に則り、美しく読みやすい文字で作品制作ができている。 b：自主的に文字の書体や構成を工夫し、目標に合わせた表現ができている。 c：作品にする題材を選び、意欲的に制作に取り組んでいる。 詩文や題材によって形式を工夫し、実用書での表現について理解している。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
3	手紙作品制作	・手紙作品制作 手紙の形式を学習し、宛名書きから便箋まで各自で内容を考え清書する。	a：形式やマスの大きさに合わせた、丁寧な字で作業ができている b：文章を正しく組み立て、相手のことを思いやった内容を考え、工夫している。 c：手紙を出すことについて感心をもち、自主的に宛先や手紙文の内容を考え、意欲的に取り組んでいる。 宛名や手紙文の決まりを理解し、それに則った制作ができている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度